

Takara standard

賃貸向コンパクトキッチン アピスカ・グレーシア (ミニSKタイプ) 設置説明書



もくじ

1. 設置される方へのお願い	1
2. 安全上のご注意	2
3. 設置前のご確認	3
4. 設置方法	4-12
1. 吊戸棚・レンジフードの取付	4
2. フロアキャビネットの設置	4-7
3. 水栓の取付	7
4. ワークトップの設置	8-9
5. 排水部品の取付	10
6. 加熱機器の設置	10
7. 給水・給湯管と水栓の接続	11
8. 排水管の接続	11
9. 扉の調整	11-12
5. 仕上げ	12
6. 安全点検および試運転	12
7. お願い事項	12

1. 設置される方へのお願い

- ◆キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- ◆本説明書については、フロアキャビネットのものです。その他のキャビネットおよびビルトイン機器・水栓金具は、それぞれに添付する設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- ◆設置完了後、試運転および各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- ◆本体に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。

2. 安全上のご注意

必ずお守りください。

●表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。		このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。		このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱うときは、必ず保護手袋をしてください。



手袋をしないで切断面に触ると、けがをするおそれがあります。

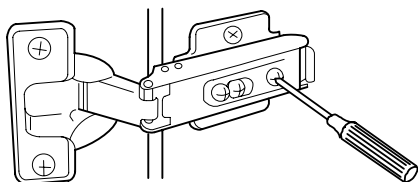
電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。



接続や固定が不完全な場合は、火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

注意

設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・丁番の緩みのないことを必ず確認してください。



扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。

設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意表示に従って正しくお使いください。



誤った使い方をすると、人体に影響がでたり、使用部材の損傷や劣化の原因となるおそれがあります。

排水器具・排水ホースの取付けおよび接続部分のシールは確実に行ってください。



取付けやシールが不十分な場合は、水が漏れたり湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。

包丁差しを取付ける時は、ネジの緩みや浮きのないように、正しく取付けてください。



取付け方を誤ると、使用中に包丁差しがはずれてけがをするおそれがあります。

快適にご使用いただくために必ずお守りください。

設置途中で製品を仮置きする場合は、ダンボールをひく等の養生を施し、キズがつかないように十分注意してください。

設置中、キャビネットや扉にドライバー、金づち等の固いものを当てたり落としたりしないように十分注意してください。

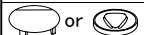
汚れを取る場合は水ぶき又は中性洗剤をご使用ください。溶剤系統の薬品や漂白剤等は絶対使用しないでください。表面が侵されるおそれがあります。

3. 設置前のご確認

- 注文した製品が納入されているか確認してください。
- 設置する場所の直角・水平レベルを確認してください。
- 設置する場所の両端が壁の場合、壁間の寸法がワークトップ間口より6～7mm以上長いことを確認してください。
- 下記の項目についてその位置を確認してください。
 - (1)給水給湯管・排水管位置
 - (2)建築側のガス管・電気配線接続位置
 - (3)レンジフードの排気口位置
 - (4)機器類の電気配線位置
- ガス種、電圧(100V、200V)、周波数(50Hz、60Hz)を確認してください。
- 各商品に下記の付属部品および組付用小物セットがあるか確認してください。
- オプション品については、付属の説明書をお読みください。

同梱部品一覧表 (プランによっては付属されていない部品もあります)

ワークトップ

部品名	数量
 小物カゴ (※ZSシンクのみ)	1
 クッションテープ	1
 or  排水プレート	1
 防熱板	1
ネジ・金具類	-

シンクキャビネット

部品名	数量
 TSTラストタッピンネジ	4.5x60 5
	3.5x27 8
 ラストタッピンネジ	3.5x10 8
	4x10 8
	3.5x14 7
 下桟受金具	2
 Φ25 ガス配管蓋	1
 設置説明書(本書)	1
 システムキッチン取扱説明書	1
 吊戸棚設置説明書	1
 製品等級表示シート (紙)	1

トラップセット

部品名	数量
 パッキン	1
 ロックナット	1
 ゴミカゴ	1
 防臭キャップ	1
 トラップ	1
 排水エルボ	1
 台形パッキン	1
 スリップワッシャー	1
 袋ナット	1

水受けタンク

部品名	数量
 水受けタンク	1
 スリーブ	2
 丸木ネジ	2

タンク取付用下地材

部品名	数量
 下地材	1
 ラストタッピンネジ3.5x14	4

排水接続には直管配管接続、ジャバラホース接続の2タイプがあります。
それぞれの場合に応じて、必要部材があるか確認してください。

直管配管接続の場合

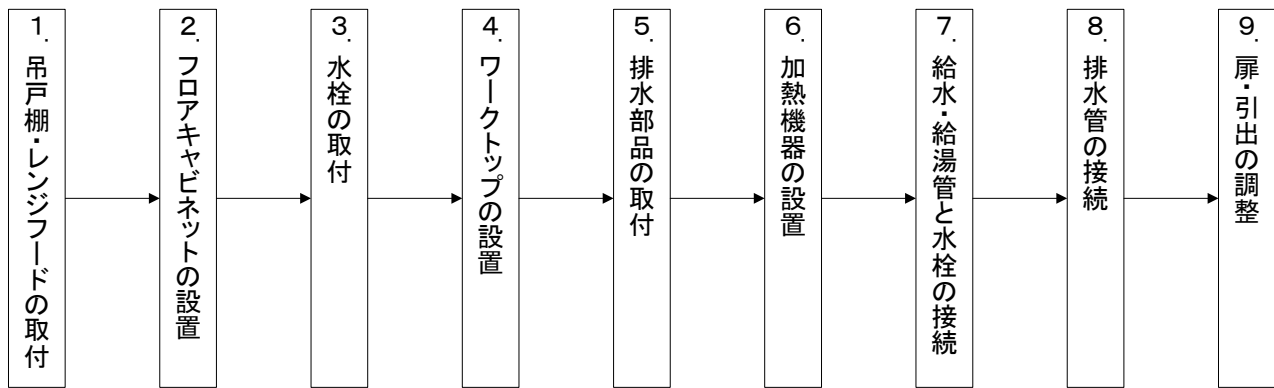
直管アダプターセット	数量
 台形パッキン	1
 スリップワッシャー	1
 袋ナット	1

ジャバラ配管接続の場合

ジャバラホースセット	数量
 平パッキン	1
 ジャバラホース	1
(ア)  or (イ)  排水管アダプター	1

4. 設置方法

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。



1. 吊戸棚・レンジフードの取付

吊戸棚の取付は、吊戸棚設置説明書にしたがって行ってください。

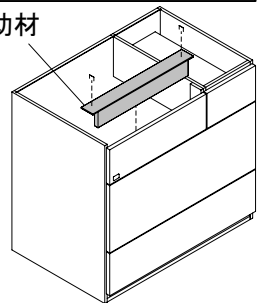
レンジフードの取付は、レンジフード付属の設置説明書にしたがって行ってください。

2. フロアキャビネットの設置

【1. 梱包補助材の取り外し】

- キャビネットには、梱包補助材(輸送時養生用)が取り付けられている場合があります。梱包からキャビネットを取り出したあとで、まずこれらの梱包補助材を取りはずしてください。設置前に設置場所に木くずやゴミなどがいないか確認してください。

梱包補助材

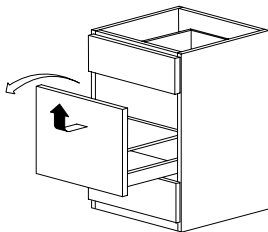
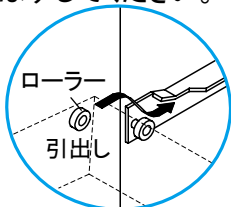


【2. 扉・引出の取りはずし】

●引出の取りはずし方・取付け方

はずし方

全開位置から持ち上げるように手前に引き出して、取りはずしてください。



●丁番の取りはずし方・取付け方

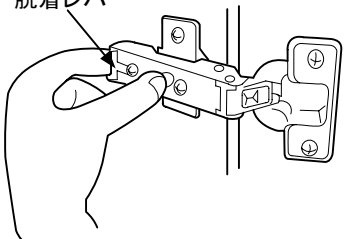
はずし方

中央の穴を押さえた状態で、脱着レバーを押しあげてください。

取付け方

丁番プレートの前部のツメに丁番本体を引っ掛け本体部分を押し込むと固定されます。

脱着レバー



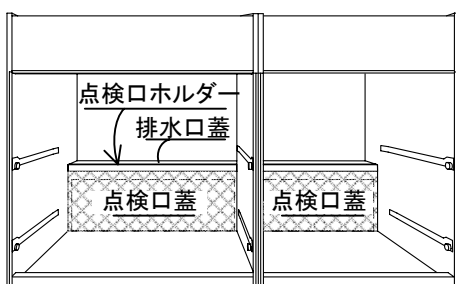
取付け方

取り外しの逆の手順で取り付けてください。

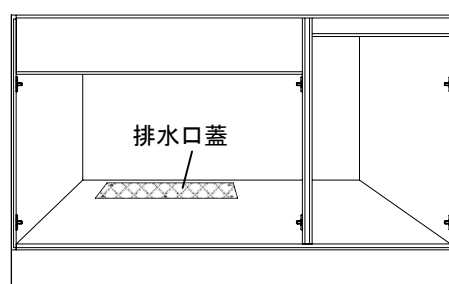
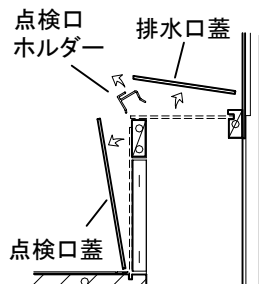
【3. 点検口蓋・排水蓋の取りはずし】

シンクキャビネットの排水口蓋を取りはずしてください。

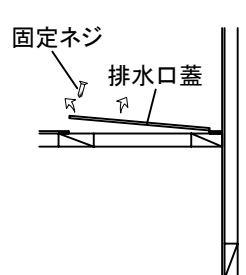
図を参考に、点検口ホルダー又は固定ネジを外せば、取りはずしが可能となります。



足元スライドタイプの場合



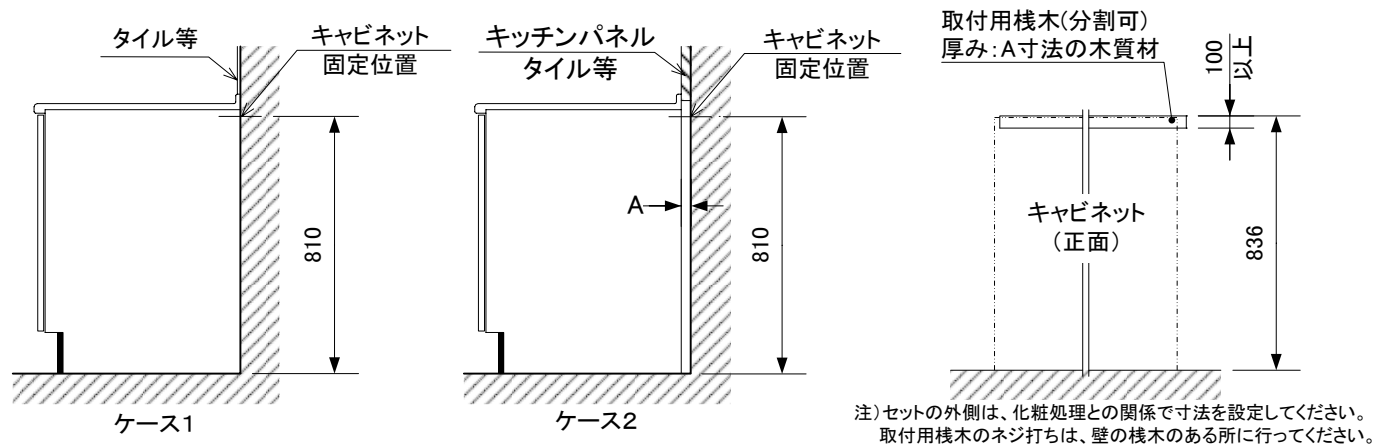
扉タイプの場合



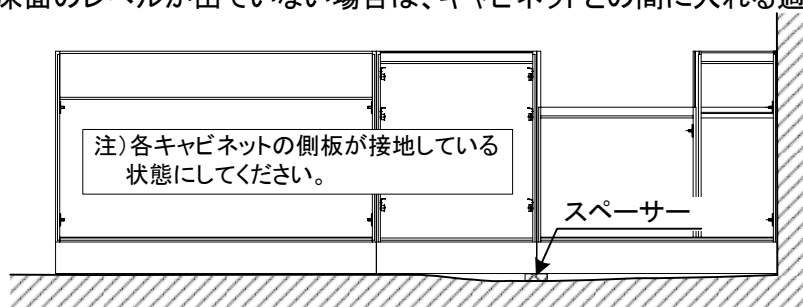
【4. キャビネットの仮置き・床面レベル出し】

キャビネット設置位置に、キャビネットを仮置きした状態で、下記項目の確認を行ってください。

- キャビネット連結位置の確認。
- シンクキャビネット壁面固定位置の確認および、取り付け下地の確認。
- キャビネットが壁面より離れて設置される場合(ケース2)は、
取付用栈木(下図のA寸法厚みの木質材:現場手配)を皿ネジ等(ネジ頭の出ないもの)で取付けてください。



- 床面のレベルが出ていない場合は、キャビネットとの間に入れる適当なスペーサーを用意してください。



【5. キャビネットへの穴加工】

●給水・給湯管穴の加工

壁出しの場合は、シンクキャビネットの後板に、床出しの場合は、シンクキャビネットの排水口蓋に給水、給湯管の立上げ位置に合わせて、 $\phi 30$ 程度の穴を2箇所加工してください。

※水受けタンク設置時は、水栓取付位置直下の背板裏側に、タンク取付用下地材を貼り付けてください。

●排水管穴の加工

排水管の立上げ位置に合わせて、シンクキャビネットの排水口蓋に穴を加工してください。

直管配管 : $\phi 60$ 程度

ジャバラ配管 : $\phi 40$ 程度

●ガス配管穴の加工(ガスコンロの場合)

配管の立上げ位置を確認してください。

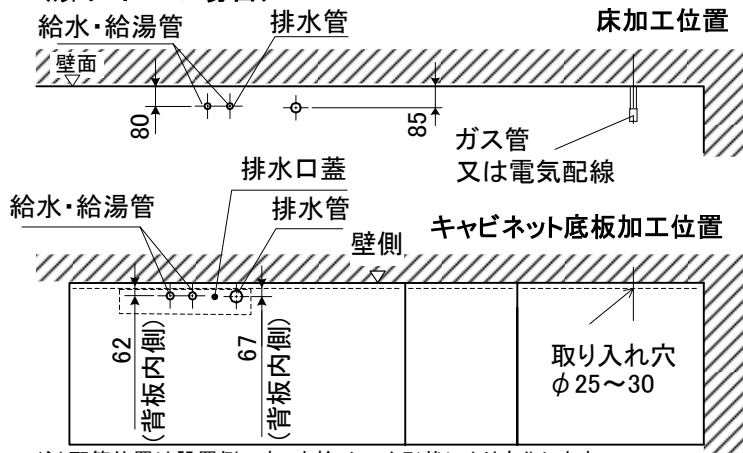
床面より高さ550mmの位置に合わせて、キャビネット背板に $\phi 25 \sim 30$ 程度の穴を加工し、キャビネット内にガス管を引き込んでください。

●電気配線穴の加工 (電気調理器組込みの場合)

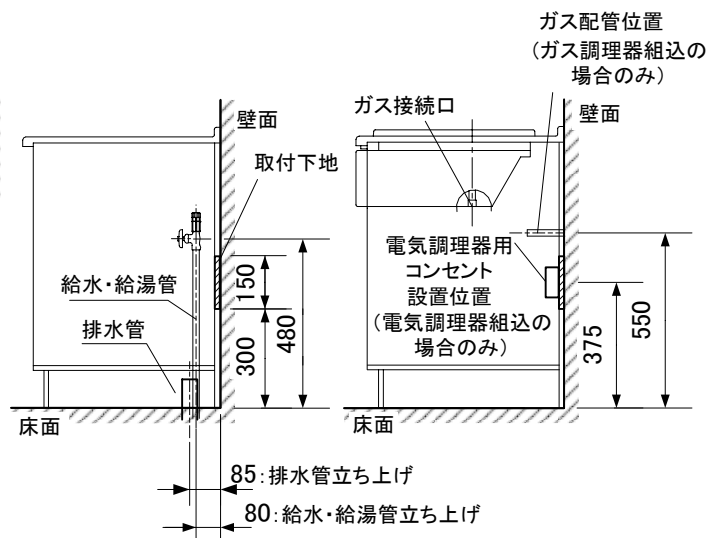
電気配線位置を確認してください。

電気配線位置に合わせてキャビネット背板に $\phi 25 \sim 30$ 程度の穴を加工してください。

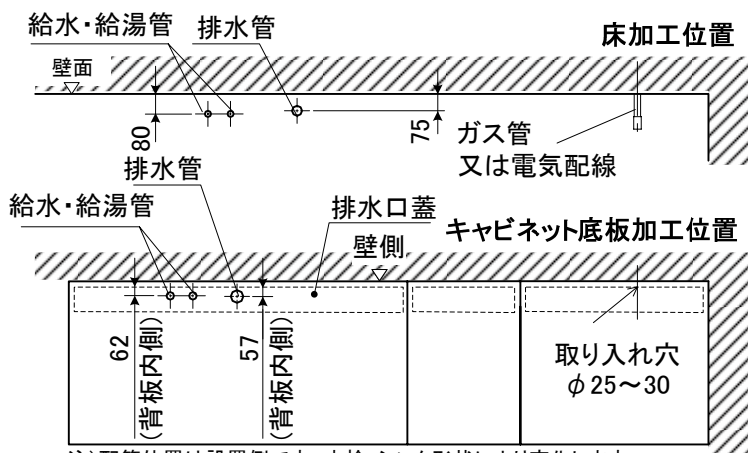
(扉タイプの場合)



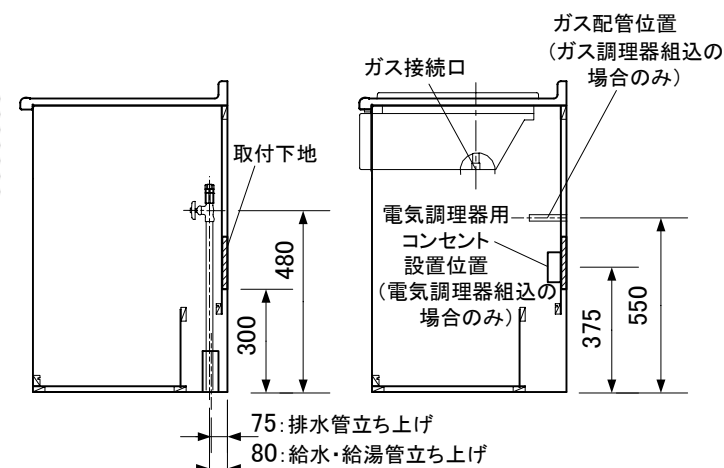
注) 配管位置は設置例です、水栓・シンク形状により変化します。
排水管穴はφ40程度、給水・給湯管穴はφ30程度になります。



(足元スライドタイプの場合)



注) 配管位置は設置例です、水栓・シンク形状により変化します。
排水管穴はφ40程度、給水・給湯管穴はφ30程度になります。



●タンク取付用下地材 貼付

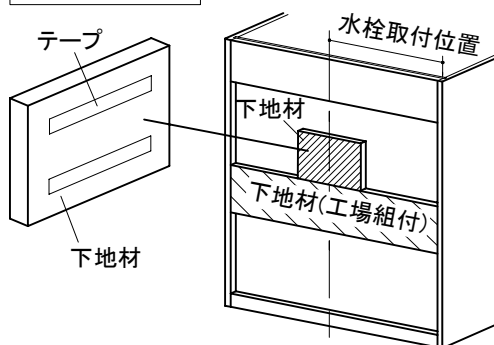
水受けタンク設置の場合は、下記の手順で下地材の取付が必要となります。

①本製品の裏面の両面テープをはがし、水栓取付位置を基準にしてキャビネット裏側から下地材を貼付けてください。

②キャビネットの内側から付属のネジを使用して、下地材を固定してください。

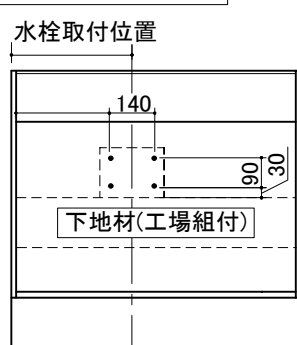
※給水・給湯管の立ち上げ位置はタイプに関わらず水栓位置からセンター振り分けにしてください。

下地材取付位置

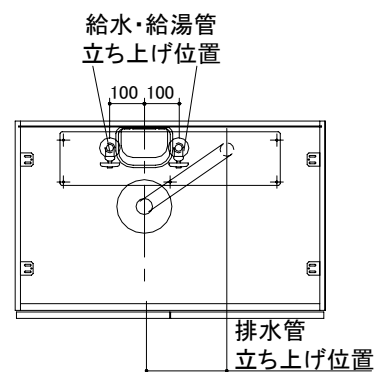


キャビネット裏側から見た図

下地固定用ビス位置

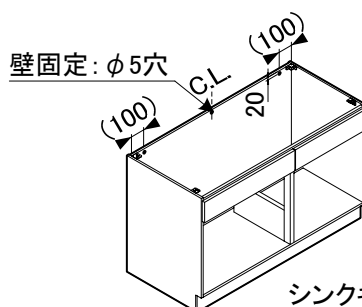


キャビネット内側から見た図

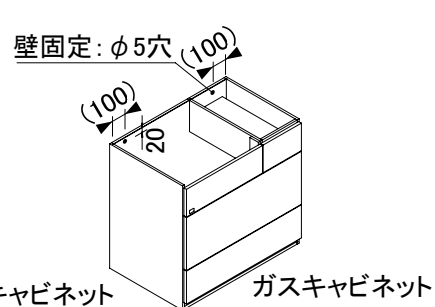


●壁面固定穴加工

シンクキャビネットの後板にφ5穴を3箇所、ガスキャビネットの後に2箇所あけてください。



シンクキャビネット

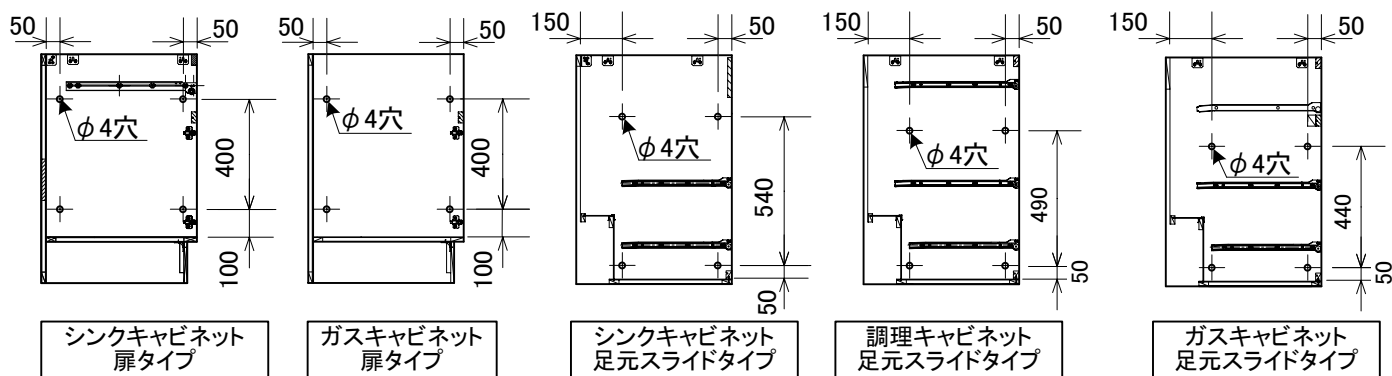


ガスキャビネット

●連結穴加工

隣接するキャビネットで、連結作業が容易な方の側板にφ4穴をあけてください。

ただし連結するキャビネットの側板高さが異なる場合は、側板が低いほうに穴をあけてください。



【6. キャビネットの連結・固定】

●キャビネットの設置

所定の位置にキャビネットを設置してください。

●壁面固定

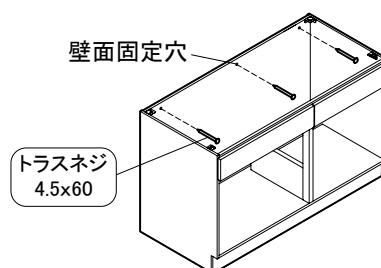
キャビネットの後板の壁面固定穴からトラスネジ 4.5x60で固定してください。

●キャビネット連結

連結穴から、トラスネジ3.5x27で連結してください。

注) 表記寸法は、あくまで参考値です。

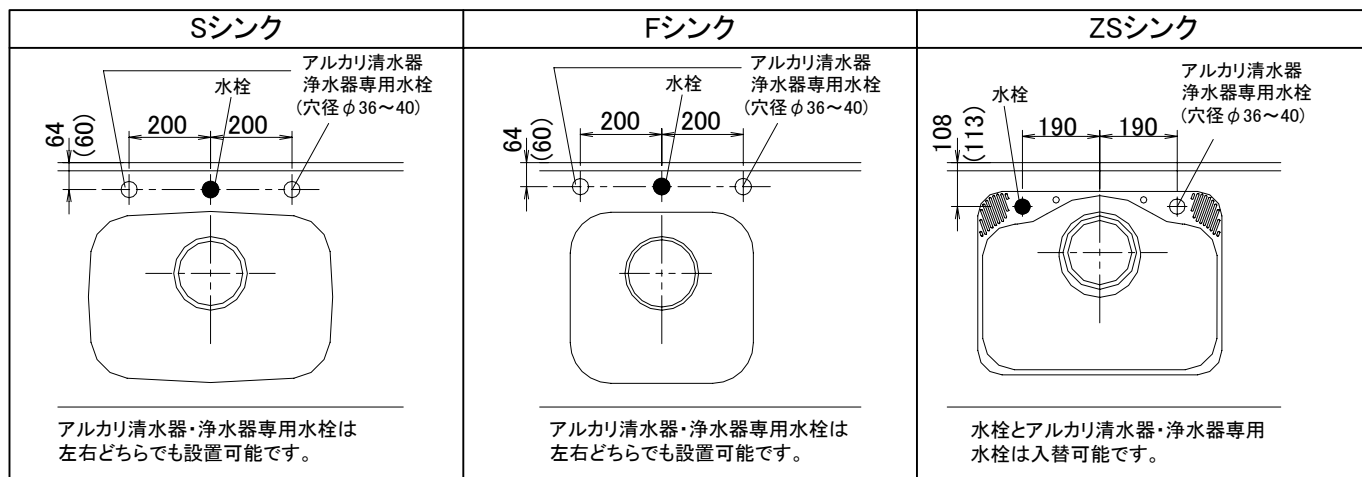
レールや丁番などの部品と干渉する場合は、上下に位置をずらして穴加工してください。



3. 水栓の取付

【1. 水栓穴の加工】

オプション品(浄水器等)を取付ける場合は、右図にしたがいワークトップの所定の位置に穴加工を行ってください。
 図中●印: 穴有天板の設定有 ○印: 現場での穴加工が必要です。



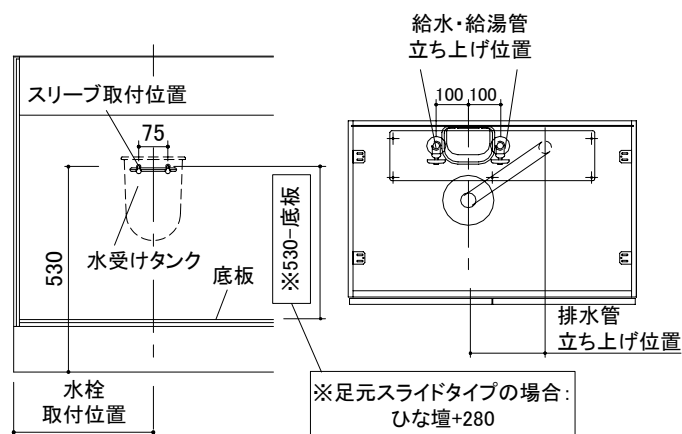
() 寸法: 人造大理石天板の場合

【2. 水栓の取付】

水栓に付属の設置説明書にしたがい取りつけてください。

【3. 水受けタンクの取付】

水受けタンクに付属のスリーブをネジで取り付け、右図を参考にしてタンクを取り付けてください。
 取付後はシャワーホースを出し入れして、タンク内からホースが出ないことを確認してください。



4. ワークトップの設置

⚠ 作業上の注意事項

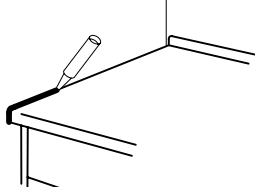


ワークトップ関連の作業を行っていない場合、ダンボール等で養生を行ってください。

壁塗り、タイル張り、配管工事などに際して、モルタル、鉄くずなどでワークトップおよびシンクに傷がつくおそれがあります。

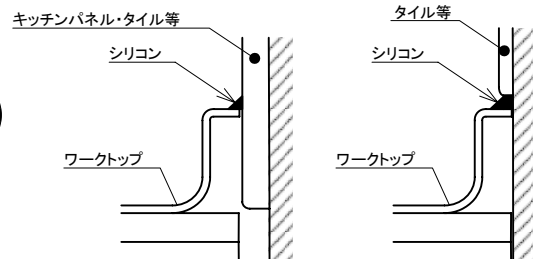


人造大理石製ワークトップの両端が壁の場合、シリコンによる目地を3～4mmとってください。



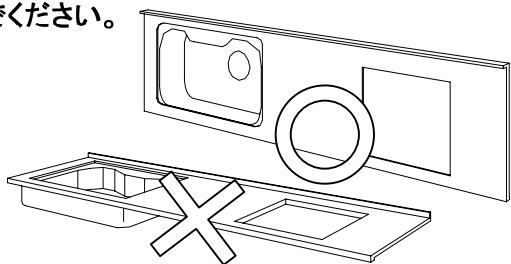
温度変化による伸縮によりワークトップのそりの原因になるおそれがあります。

壁等に接するワークトップ部分は、シリコンでコーキング処理を行ってください。



水が進入した場合、腐食や、カビの発生の原因になるおそれがあります。

ワークトップを移動する場合は、水平にした状態で運ばないでください。



横にして運んだ場合、ワークトップに損傷を与えるおそれがあります。

取付中、ワークトップおよびシンクの中などに乗らないでください。



製品が変形・破損するおそれがあります。

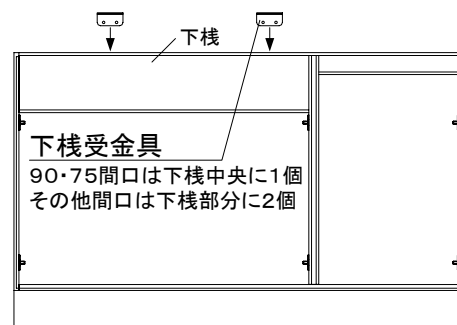
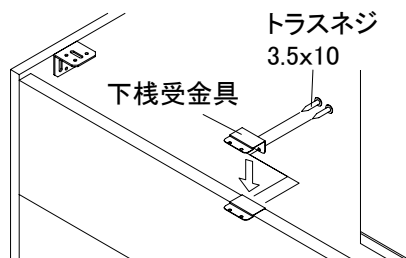
シンナー、アセトン等の強力な溶剤で洗淨しないでください。



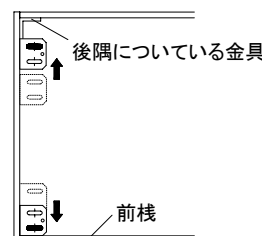
製品が変形・変色するおそれがあります。

【1. ワークトップの取付前の準備】

- ①下棧受金具の取付け
シンクキャビネットの図の位置に下棧受金具を取付けてください。



- ②L金具の前後調整
シンクの押さえ金具がシンクキャビネットのエンド側のL金具と干渉する場合は、L金具を移動してください。
- ・前側のL金具: 前棧にあたるまで
 - ・後側のL金具: 後隅についている金具にあたるまで
- 移動したL金具よりネジでワークトップを固定してください。



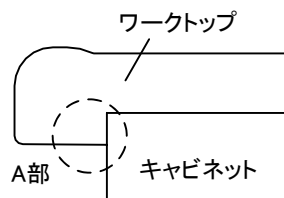
注) 前側の金具からの固定は、手前の長穴より行ってください。

【2. ワークトップの取付】

①ワークトップの仮置き

ワークトップをキャビネットにのせてください。

注)キャビネット前部とワークトップ前下がり部との間(A部)にスキがないようにワークトップを奥へ押し付けてください。



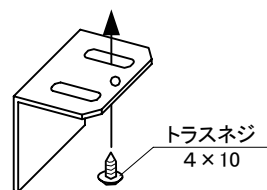
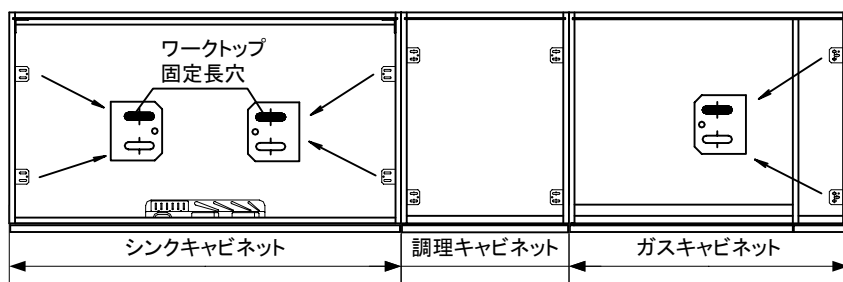
②ワークトップの固定

キャビネットのL金具よりネジでワークトップを固定してください。

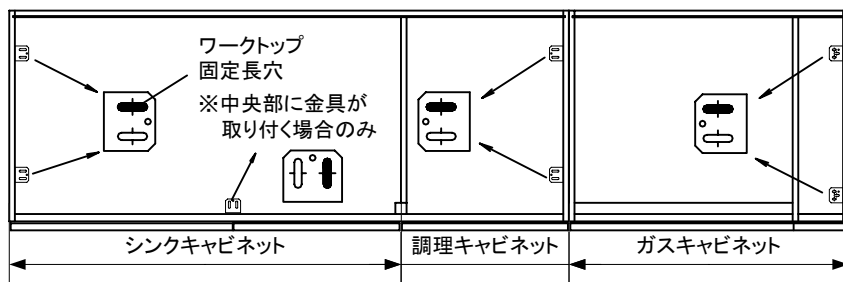
固定位置は、ワークトップの両サイドです。

(L金具には長穴と丸穴があいています。間口調整ができるように長穴の中央付近からネジ打ちしてください。)

足元スライドタイプの場合



扉タイプの場合

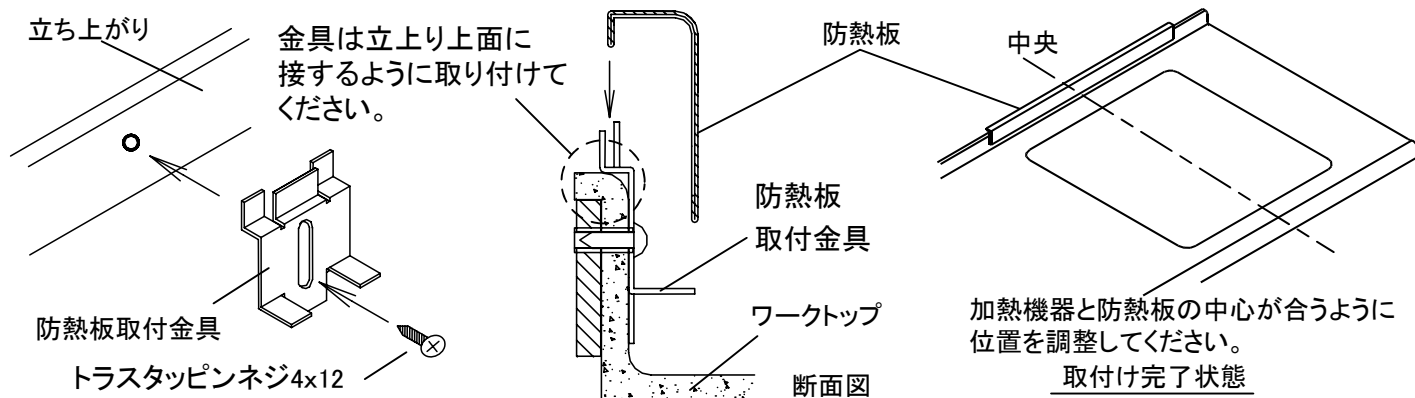


③防熱板の取付(人造大理石天板の場合のみ)

ワークトップの立上り部分にある下穴(2ヶ所)に、ブッシュを奥まで差し込んでください。

防熱板取付金具をネジでブッシュに固定し、防熱板を金具に差し込んでください。

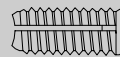
加熱機器と防熱板の中心が合うように位置を調整してください。



ブッシュを反対に差し込むと取付できませんので、差し込み方向に注意してください。



差し込み側の形状



← 差し込み方向



表側の形状

立上りより1mm以上飛び出ないようにしてください。



防熱板取付金具がしっかり取付できないおそれがあります。

1mm以下

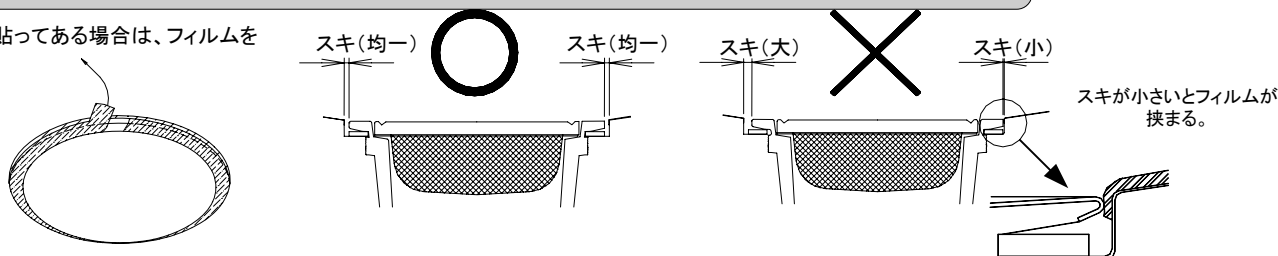


5. 排水部品の取付

- ①シンクの排水トラップ取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。
(排水トラップ取付部にフィルムが貼ってある場合は、フィルムをはがして取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。)

注) 1. 排水トラップ取付部にフィルムの切れ端しや異物が残っていると水漏れの恐れがあります。
2. 排水トラップ取付部のスキがなるべく均一になるように取付けてください。下図の×のようにスキが均一でないと、スキが小さい箇所ではフィルムが挟まり、取りにくくなります。

フィルムが貼ってある場合は、フィルムをはがす。



- ②排水トラップにパッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

注) 排水トラップのパッキン溝部にパッキンがきちんと収まっているか確認してください。(A部)

- ③排水トラップをロックナットで仮固定してください。

- ④配管の立ち上げ位置からトラップまでの寸法を測定し、排水エルボをカットしてください。

- ⑤排水エルボに袋ナット・台形パッキン・スリップワッシャを装着してトラップ本体に袋ナットで取付けてください。

注) 差し込む順序や台形パッキンの向きが間違っていないか確認してください。(B部)

- ⑥排水エルボが排水口蓋の穴の位置にくるように排水トラップの向きを調整してください。

注) 排水エルボは排水トラップの奥まで十分に差し込み袋ナットをしっかりと締め付けてください。

- ⑦ロックナットを締め付けてください。
ロックナット締付工具は別途手配してください。

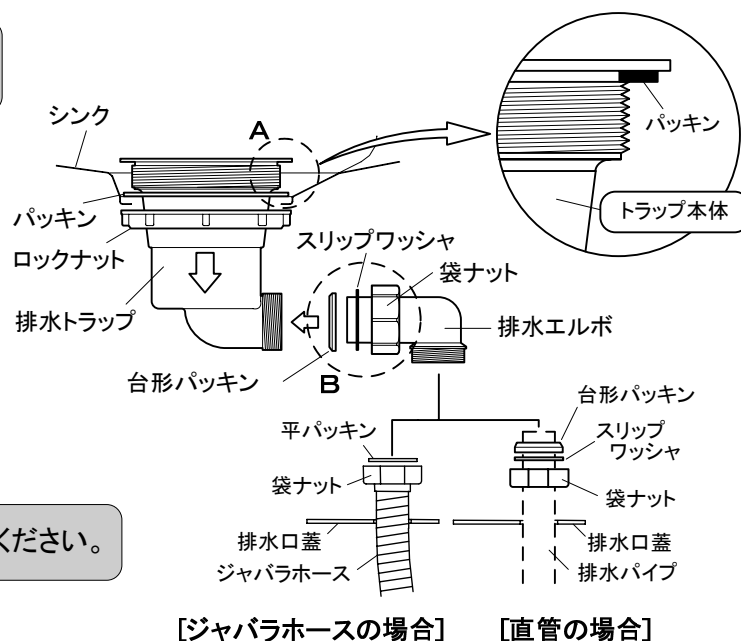
【下記⑧-⑨はジャバラホースの場合のみ】

- ⑧排水エルボにジャバラホースを取り付けてください。

注) ジャバラホースの平パッキンをそのまま使用してください。

- ⑨ジャバラホースを排水口蓋の穴に通してください。

- ⑩接続完了後、排水トラップのロックナットと接続部の袋ナットを再度締め込んでください。



6. 加熱機器の設置

加熱機器に付属の設置説明書にしたがって設置してください。

(電気調理器の場合)

キャビネット庫内にコンセントを設置してください。

配線関係の接続工事は、必ず電気工事店等の「有資格者」が行ってください。

7. 給水・給湯管と水栓の接続

配管工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。
配管工事は水栓の設置説明書にしたがって行ってください。

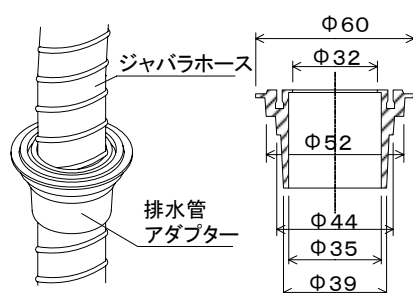
8. 排水管の接続

排水管の配管工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。
排水トラップ接続部以降の配管部材は全て現地手配となります。
※直管アダプター: 別途手配となります。

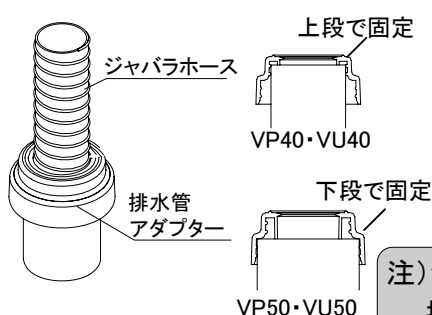
＜ジャバラホース接続の場合＞

- ①ジャバラホースに排水管アダプターを取付けてください。
- ②排水管アダプターを排水管に差し込みスキ間のないように完全にシールしてください。
- ③排水口蓋を元に戻し、ネジで固定してください。

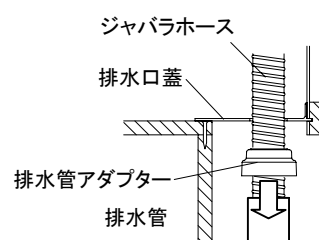
注) 排水管アダプターは、下記のいずれかが同梱されています。形状を確認の上、作業してください。



VP-40(内径φ40)、
VU-40(内径φ44)、
VP-50(内径φ51)の排水管に
接続可能。



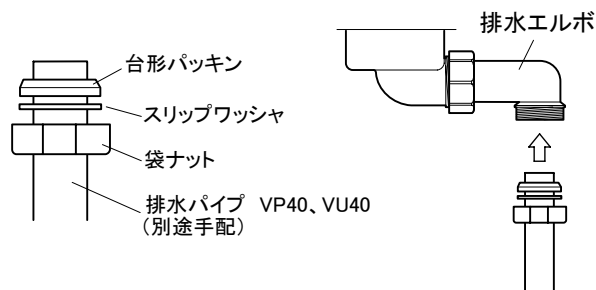
VP-40、VU-40、VP-50、
VU-50の排水管に接続可能。



注) ジャバラホースを長いまま差し込むと、
排水不良の原因となります。
長い場合は、必ず切断してください。

＜直管接続の場合＞

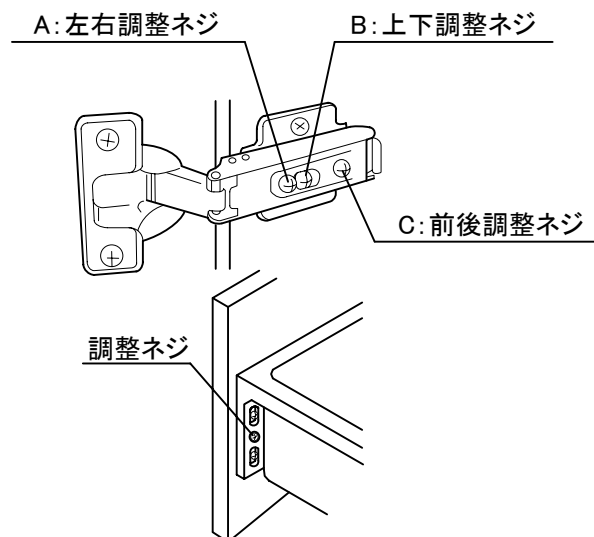
- ①袋ナット、スリップワッシャー、台形パッキンを右図の通り、排水パイプ(VP40、VU40)に通し取付けてください。
- ②排水パイプの長さは排水エルボに十分な長さが入るように調整願います。



9. 扉・引出の調整

【1. 開き扉】(丁番の調整)

- ①前後調整
Cのネジを緩めることにより扉が前後に動きます。
 - ②左右調整
Aのネジを調整することにより、扉が左右に動きます。
 - ③上下調整
Bのネジを緩めることにより扉が上下に動きます。
- 注) 調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。



【2. 引出】(樹脂引出)

引出表板裏面の樹脂引出部に露出しているネジを緩めると、引出表板が調節可能になります。

注) 調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。

【3. スライド扉】

①スライド扉の左右方向の調整

Cのネジをゆるめて左右を調整し、再度ネジを締め直してください。

②スライド扉の上下方向の調整

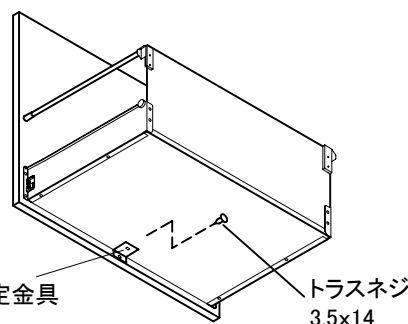
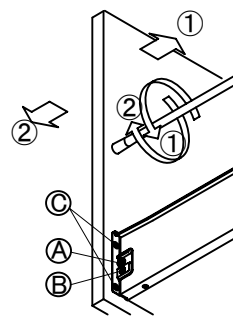
Aのネジをゆるめた後、Bのネジを回して上下を調整し、再度Aのネジを締め直してください。

③スライド扉の前後方向(角度)の調整

左右のバーを回して扉の角度調整を行ってください。

④仕上げ

調整後、間口60cm以上については
前板固定金具と前板をトラスネジ3.5x14で固定してください。



5. 仕上げ

【1. コーキング処理】

ワークトップ周囲等、必要と思われる部分をコーキング処理してください。

【2. 清掃】

設置時に商品が汚れた場合は、水又は温水を浸した布でふいてください。

落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤をつけてふき取り、水ぶきしてから、からぶきしてください。

ご注意：溶剤・酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためるおそれがあります。



6. 安全点検および試運転

【1. 安全点検】

①扉の確認

扉の傾き、がたつきや丁番の緩みがないことを確認してください。

②排水部の確認

排水トラップおよび排水パイプ接続部などに水漏れがないことを確認してください。

【2. 組込機器の試運転】

キッチンに組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順にしたがって正常に作動することを確認してください。

7. お願い事項

【1. 商品の養生】

すべての設置が完了しましたら、ワークトップおよびキャビネットを保護養生してください。

【2. 取扱説明書の保管・引渡し】

キッチンおよび組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて、キャビネットの引出しに収納しお引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

本説明書に関しても、次工程および保守等に必要場合がありますので、取扱説明書と同様に保管ください。

【3. 梱包材その他設置部材の処理】

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

TEL 06-6962-1531